

高等部〇年〇グループ 教科別の指導「数学」 学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
第〇時 〇 : 〇 ~ 〇 : 〇
場 所 高等部〇年〇組
指導者 〇〇 〇〇 (T 1)
〇〇 〇〇 (T 2)
〇〇 〇〇 (T 3)

1 題材名「10のまとまりの便利さを知ろう」

2 題材設定の理由

(1) 生徒観

本グループは〇〇障害部門高等部2年の男子4名、女子2名の計6名で構成されている。主な障害――(生徒の障害については省略)――。コミュニケーション面については、言葉での簡単なやりとりができる生徒や、ジェスチャーや指差しで意思を伝えられる生徒が多くいるが、その時の気持ちや体調、状況によって自分の気持ちを十分に伝えられない生徒もおり、環境を整える必要がある。

題材に係る実態については、1から10までの概念は理解しており、数字と具体物のマッチングや2つの数字を比べて多い、少ないに関する問いに概ね答えることができる。11より大きい数になると、教員と一緒に数唱しながら数字や具体物の数を確認する必要があり、支援を有する。数学の活動に対しては意欲的であり、やるべきことが分かると進んで取り組める生徒が多い。

(2) 題材観

本題材においては小学部3段階A数と計算ア(ア)⑤「数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること」、A数と計算(イ)⑦「数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすこと」を取り扱う。

具体物を操作しながら10のまとまりを作ったり、10のまとまりで数えたりすることを学習活動の中心に据えて取り組む。そして、10のまとまりを意識できるようにし、自ら考えて活用できるようにしていく。そのために、普段の生活の中で馴染みのあるお金を用いた活動や、視覚的に量と数字を関連付けて考えることができるタイルを用いた活動を行う。

10のまとまりの理解を深め、活用できるようになることで、卒業後の働くことを中心とした生活において活かせる場面が多くあり、役割の幅の広がりや作業効率の向上につながると考える。また、数を頼りに見通しや目標をもてることで、与えられた役割に意欲的に取り組める強みの発揮にもつながると考える。卒業後の働くことを中心とした生活において、生き生きとした姿で活躍できるようにしていきたい。

(3) 指導観

数学のよさに気づき主体的に活動に取り組むことができるようにするため、「できた」「わかった」と実感できる活動を取り入れる。具体的には具体物を操作する場面を多く設定したり、毎時

間の流れを固定したり、教員が見本を示したり、一緒に活動したりする。

10のまとまりに注目して数えたり、書き表したりするために、具体物を操作して10のまとまりを作り、10、20、30…と10ずつ数える活動を取り入れる。また、10のまとまりのタイルと1つのタイルを10個並べて同じであることを視覚的に理解できるように説明したり、10のまとまりと端数という数え方を基にして構成されていることに気づいたりすることができるようにする。そして、10のまとまりを学習や生活で活かすことができるように10円硬貨と1円硬貨を取り入れ、10のまとまりのよさや学習活動への動機づけを高められるようにしていく。

生徒の課題に取り組む速度や意欲が様々であるため、課題の量や難易度を調整したり、励ましたりして活動に取り組む。また、互いに活動している様子を見合う場面を設定し、相手の考え方の違いに気づきながら、学習活動への動機づけを高めていく。

3 生徒の実態

氏名	題材に関する実態
A	<ul style="list-style-type: none"> ・1～30の数を数えて書くことができ、数字と数量のマッチングが概ねできる。 ・数の大小を概ね理解している。 ・見通しがもてると進んで活動に取り組むことができる。 ・発語はあるが不明瞭で、要求を指差しとともに伝えることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・1～100までの数唱、30までの数字と数量のマッチングができる。 ・数の大小を概ね理解している。 ・行動に移るまで時間がかかるが、理解して活動ができる。 ・嫌なことや強い要求は言葉で伝えることができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・1～15までの具体物を数えること、1～10までの数字と数量のマッチングができる。 ・量で判断して数の大小を答えることができる。 ・教員に自ら声をかけ、一緒に取り組むことで自信をもって活動できる。 ・簡単な言葉でのやり取りができ、やることが分かると進んで行動できる。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・100までの数字を見ながら数唱をしたり、10、20、30と唱えたりすることができる。また、30までの数字と数量のマッチングができる。 ・数の大小を概ね理解している。 ・やることが分かると自分で進めることができる。 ・簡単な言葉での指示は理解し、2語分程度で要求を伝えることができる。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・1～31の数字を正しく読むことができ、1～10までの数字と数量のマッチングができる。 ・数の大小を概ね理解している。 ・気持ちが安定しているときは課題に向かうことができる。 ・単語で要求を伝えることができる。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・20までの数唱ができ、1～20程度の数字と数量のマッチングができる。 ・数の大小を理解している。 ・見通しがもてると自分のペースで活動に取り組むことができる。 ・簡単な言葉での指示は理解して行動し、要求は表情やサインで伝えることもある。

4 題材の目標

(1) 共通目標

知識及び技能	数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに着目し、数の数え方、表し方について考え、学習に活かすことができる。
学びに向かう力、人間性等	数量に気付き、学習に関心をもって取り組むことができる。

(2) 個人目標

A	知識及び技能	10のまとまりを意識したり数えたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに気づき、課題に取り組むことができる。
	学びに向かう力、人間性等	目の前の課題に自ら取り組むことができる。
B	知識及び技能	数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに着目し、数の数え方について考え、学習に活かすことができる。
	学びに向かう力、人間性等	活動内容を理解し、自ら取り組むことができる。
C	知識及び技能	10のまとまりを意識したり数えたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに気づき、課題に取り組むことができる。
	学びに向かう力、人間性等	自信をもって活動に取り組むことができる。
D	知識及び技能	数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに着目し、数の数え方について考え、学習に活かすことができる。
	学びに向かう力、人間性等	活動内容を理解し、進んで取り組むことができる。
E	知識及び技能	10のまとまりを意識したり数えたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに気づき、学習に活かすことができる。
	学びに向かう力、人間性等	目の前の課題に教員と一緒に取り組むことができる。
F	知識及び技能	10のまとまりを意識したり数えたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	数のまとまりに気づき、学習に活かすことができる。
	学びに向かう力、人間性等	活動内容を理解し、自ら取り組むことができる。

5 指導計画

時数	主な学習内容	主な評価の観点		
		知・技	思・判・表	主
1	10までの数と数量	○		○
3	30までの数と数量	○		
5	10のまとまりを意識してみよう 3/5 (本時)	○	○	

6 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点

- ・「やってみよう」と思えるよう教材を工夫しわかりやすく提示する。(主体的な学び)
- ・友達の活動を見たり、友達の成果を共有したりする。(対話的な学び)
- ・「できた」を感じ、もう少しやってみようと思えるような雰囲気を作る。(深い学び)

7 本時の構成

(1) 本時の目標

共通 目標	知識及び技能	10のまとまりに注目し、正しく数を数えたり数字と数量をマッチングしたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを活用することができる。
A	知識及び技能	10のまとまりがあることを知り、数えたりタイルを並べたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを活用しようとするすることができる。
B	知識及び技能	数を10のまとまりとして捉え、正しく数えたり数字を見てタイルを並べたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを活用することができる。
C	知識及び技能	10のまとまりがあることを知り、数えたりタイルを並べたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを教員と一緒に活用することができる。
D	知識及び技能	数を10のまとまりとして捉え、正しく数えたり数字と数量を合わせたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを活用することができる。
E	知識及び技能	10のまとまりの存在に気づき、数えることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを教員と一緒に活用しようとするすることができる。
F	知識及び技能	数を10のまとまりで数えたり、タイルを並べたりすることができる。
	思考力、判断力、表現力等	10のまとまりを活用することができる。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導・支援の手立て及び指導上の留意点	備考
〇〇:10	1. 挨拶 2. 本時の流れ	・生徒と視線を合わせる等、注目できるようにする。 ・教材を提示し、活動に見通しがもてるように本時の内容を説明する。	
〇〇:13	1. 形色の分別 ・3人ずつ前に出てリングを分別する。 2. 分別したものを数えて比べる。 ・順番に前に出て、分別しものを	・友達の活動も見て、活動への動機づけを高める。 ・数えられているか確認する。	・3色の ○△□ リング ・数える

	<p>ボードのフックにかけながら数える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数を記入する。 ・提示された2つのボードを比べて数の大小を答える。 <p>3. 10円をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースに1円玉を入れる。 ・10枚入れられたら報告をする。 ・何十円できたか数える。 <p>4. タイル並べ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字カードを選ぶ。 ・数字と同じ数のタイルを並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて一緒に数える。 ・友達が数えたものを見て、互いに称賛できるようにする。 ・2つピックアップして数の大小を生徒に尋ねる。 <ul style="list-style-type: none"> ・1円玉10枚と10円玉1枚が同じであることを説明する。 ・できたら10円シールを貼り、1円玉が10枚で10円玉になることを認識できるようにする。 ・何十円できたか数えられるように、一緒に声を出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・10個のタイルと10のかたまりのタイルが同じであることを意識できるように、並べて提示する。 ・10のかたまりのタイルを活用できるように言葉かけをする。 ・2、3名のできたボードを見せ、できたことを称賛する。 	<p>ボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース ・1円玉 ・10円シール <ul style="list-style-type: none"> ・タイル並べボード ・数字カード ・タイル
〇〇:55	<p>1. 振り返り</p> <p>2. 挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動で良かったこと、できたことを伝える。 ・生徒と視線を合わせる等、注目できるようにする。 	

8 本時の評価

(1) 生徒の学習評価

A	知識・技能	10のかたまりがあることを知り、数えたりタイルを並べたりしている。
	思考・判断・表現	10のかたまりを活用しようとしている。
B	知識・技能	数を10のかたまりとして捉え、正しく数えたり数字を見てタイルを並べたりしている。
	思考・判断・表現	10のかたまりを活用している。
C	知識・技能	10のかたまりがあることを知り、数えたりタイルを並べたりしている。
	思考・判断・表現	10のかたまりを教員と一緒に活用している。
D	知識・技能	数を10のかたまりとして捉え、正しく数えたり数字と数量を合わせたりしている。
	思考・判断・表現	10のかたまりを活用している。

E	知識・技能	10のまとまりの存在に気づき、数えている。
	思考・判断・表現	10のまとまりを教員と一緒に活用しようとしている。
F	知識・技能	数を10のまとまりで数えたり、タイルを並べたりしている。
	思考・判断・表現	10のまとまりを活用している。

(2) 教師の指導の評価

ア 授業構成について

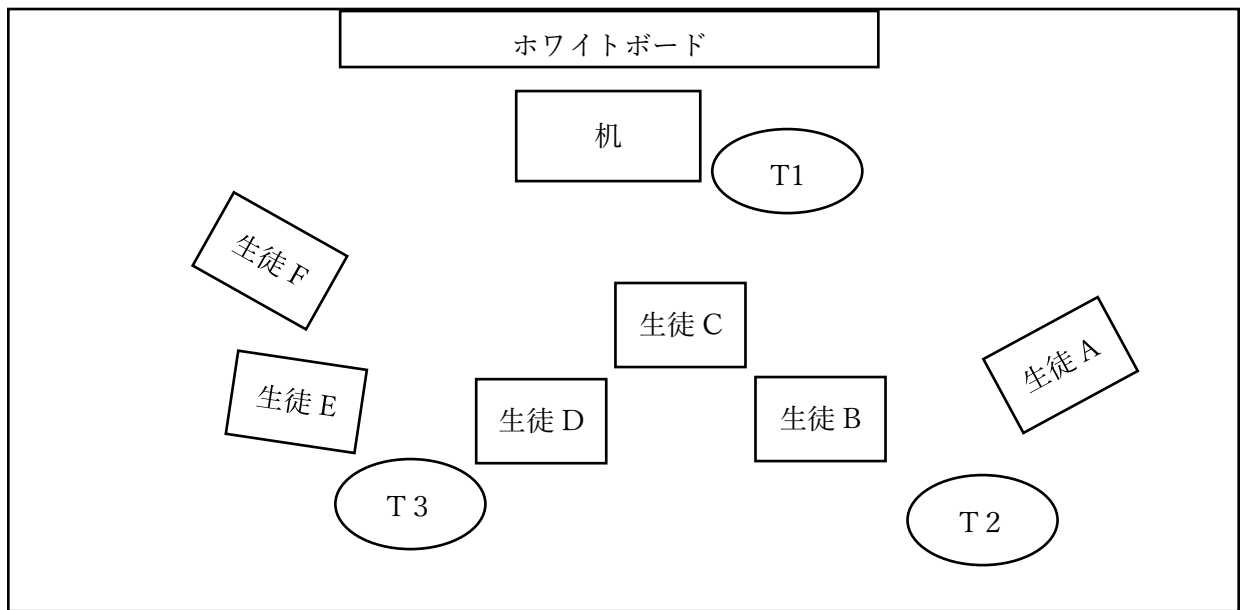
- ・生徒が主体的に活動できるような授業内容であったか。
- ・目標を達成できる活動内容であったか。

イ 教師による支援について

- ・活動への見通しがもてる適切な支援・指導ができたか。
- ・生徒の実態に応じた教材であったか。
- ・生徒が主体的に取り組めるような言葉かけや環境設定ができたか。

9 備考

<配置図>

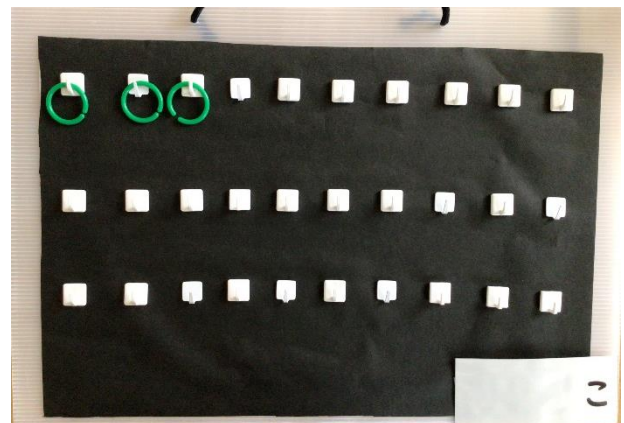


<教材>

(1) 色形分別



(2) 数えるボード



(3) 10円を作ろう



(4) タイル並べ

